

孟宗山の雪のかけらが飛んで来し  
孟宗山松に真夏の雪つもる

横山幸子  
長谷川權

【鯉山】

鯉山の鯉跳ねてゐる暑さかな  
雲の峰鯉山の鯉はねながら  
鯉山の鯉は炎の風に跳ね

本橋康子  
木下洋子  
坂元初男

【八幡山】

八幡山鳩の鈴音よくとほり

馬淵可奈

【行者山】

護摩を焚く煙の中から行者山

木下洋子

【太子山】

押し立てて比叡の杉や太子山  
あをあをと杉の若木や太子山  
子の授くる知恵の守りや太子山

本橋康子  
同  
木下洋子

【保昌山】

保昌山見送りてまた会ひにけり

上田忠雄

【黒主山】

茄子かぼちや黒主山と彫られあり  
仰ぎみる桜のよけれ黒主山

大場梅子  
上松美智子

【霰天神山】

霰天神松の緑の美しく

佐々木まき

【鈴鹿山】

鈴鹿山人が担ひて曳きまはす

唐振昌

【南観音山】

あばれきて南観音山涼し  
軒蹴つて南観音山あばれたり  
昨夜あばれ南観音山静か

丹野麻衣子  
上田忠雄  
角野京子

【綾傘鉾】綾傘踊

綾傘鉾さても涼しき調べかな  
綾傘鉾飛天の蹠涼しかり  
清水さん偲ぶ綾傘踊見て

藤英樹  
近藤沙羅  
佐々木まき

【休み鉾】

お囃子の稽古絶やさず休み鉾  
鷹山の翁さびたり鷹もまた  
禁門の変やこの方休み鉾

大塚直子  
丹野麻衣子  
北側松太

【戻り鉾】戻り山

戻り鉾二つ並びてはしけやし  
また一つ雨の中より戻り鉾  
業平の館の跡を戻り鉾  
笛方のひとりひた吹く戻り鉾

近藤沙羅  
同  
同  
岩根壽美

鉾町の路地いつばいに戻り鉾

同

ひとまはり大きくなつて戻り鉾

同

ゆのし屋の庇の前を戻り鉾

中村汀

戻り鉾戸口に椅子を持ち出して

山本華子

戻り鉾榭こぼしてとほりゆく

本橋康子

大車輪目の前をゆく戻り鉾

同

戻り鉾嵐のごとく過ぎゆけり

同

稚児舞の身をのり出すや戻り鉾

潮伸子

誰彼に手を振りゆくや戻り鉾

上松美智子

戻り鉾団扇の風に送られて

同

柵屋の黒塀の前鉾戻る

本谷厚子

見下ろして畏れ多くも戻り鉾

秋枝雪子

洛中の厄を集めて鉾戻る

清田喜代子

軋みつつ軒の上くる戻り鉾

角野京子

屋根方は足で捌いて鉾戻る

澤田美那子

新町の角をまはつて戻り鉾

木下洋子

山鉾のもどりきつたるあとの風

大谷弘至

戻り鉾空から松をおろしけり

丹野麻衣子

【鉾解き】

たちまちに長刀鉾の解かれゆく

小川もも子

鉾解きて涼しき繩を貰ひけり

同

力あはせ鉾の車輪をはづしをり

近藤沙羅

今頃は鉾解かれをる頃ならん

同

鉾解いて急に明るき京の空

中村汀

二階より指示の声とび鉾を解く

清田喜代子

函谷鉾解きたる繩のうづたかく

安藤久美

鉾解かれ普段の町に戻りけり

井上次雄

外されて鉾の車輪の大いなる

長谷川權

【鯉】

鯉食うて棒ふりばやし見にゆかん

大谷弘至

落し鯉喰はねばこころ定まらず

丹野麻衣子

鯉焼いて京の祭を始めけり

上田悦子

鯉喰うて何やはかなごころかな

長谷川權

【夏】

水色の菓子の包みも夏らしく

長谷川權

【暑し】

屋根方のさぞ暑からん命綱

田宮尚樹

【炎天】

大車輪ささら打ち敷く炎天下

佐々木まき